

第 65 期  
年 次 報 告 書

(2024年4月1日から)  
(2025年3月31日まで)

fligan

愛眼株式会社

証券コード 9854

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、当社は2025年3月31日をもって第65期連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ地域をめぐる中東情勢の緊迫化に加え、アメリカ政府の経済・外交政策の動向など不安定な国際情勢の中にあつて、国内においては、賃金と物価の好循環による雇用・所得環境の改善や株高による資産効果が期待される一方で、エネルギー・原材料価格の高騰や円安の影響に加え、人件費や物流コストの増加などを背景とする物価上昇の継続により消費者マインドが停滞し、個人消費にネガティブな影響を与える懸念を生じるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、「お客様の暮らしを、より快適に、より豊かにする企業となることを目指し、安心の技術、納得の商品、気持ちに寄り添うサービスを提供します。」を経営方針として掲げ、「目と耳の健康を守る」ことを社会的な使命と責任と捉え、顧客体験価値の最大化を追求するとともに、コロナ後の社会情勢の変化を見据えた取り組みを推し進めております。また、組織及び人材面では、業務の効率化並びに働き方改革や女性活躍推進などに取り組み、プロアクティブな組織づくりを進めております。

当連結会計年度における経営成績は、新型コロナウイルス感染症の感染状況の沈静化に伴う社会経済活動の正常化によって、これまでコロナ禍で影響を受けてきた店舗での対面型販売はほぼ平時の状態に戻り、売上高は14,863百万円（前期比1.4%増）となったものの、コロナ禍以前の売上水準には未だ戻っておりません。売上総利益率は、商品仕入コストの上昇に伴い一部商品について販売価格の値上げを行ったものの、割引セールやポイント付与サービスなどの販売戦略上の影響及び品目別売上構成比の変化などにより減少しました。経費面では、人件費や広告宣伝費など主要な運営コストの上昇があったものの、店舗照明のLED化による節電や改装費用の圧縮など経費コントロールの徹底に努めた結果、販売費及び一般管理費は10,219百万円（前期比0.5%増）となり、売上高に対する販管費の割合は減少しました。

この結果、営業損失は128百万円（前期は営業損失123百万円）、経常損失は47百万円（前期は経常損失59百万円）、また、特別利益として、保有する株式の投資有価証券売却益197百万円及び在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益36百万円、特別損失として、減損損失88百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は3百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失181百万円）となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は次のとおりです。

### 【眼鏡小売事業】

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、眼鏡専門店として長年培ってきた安心で快適な視力・聴力補正技術、高い専門性を要する商品提案力

と接客・サービス力の全てが結集した「愛眼ブランド」の信頼性と独自性の向上に取り組み、当社の強みをアピールすることで、認知度の更なる拡大を図ってまいりました。

売上高につきましては、社会経済活動の正常化に伴い人流が戻り、アフターコロナ期への移行が進み、全体では前期比で増収となりました。主力品目のメガネは、前期比で若干増収となったものの、コロナ禍以前の売上水準には未だ戻っておりません。準主力品目の補聴器は前期比で増収となり、購入前の補聴器のお試しレンタルと購入後のアフターサービスが好評を得てコロナ禍以前の売上水準を大幅に上回るまで回復しております。準主力品目のサングラスは、行動制限が撤廃されたことにより客足の回復が進み、また、昨年は異常な猛暑の中で紫外線対策に対する関心が高まったこともあり前期比で増収となっており、順調に伸ばしております。

販売促進面につきましては、お客様のニーズに的確に対応し、お客様視点を第一とする商品開発に注力し、素材・機能面において高品質でお客様満足度の高い商品の品揃えの充実を図ってまいりました。同時に、価値の高い顧客体験を通じて顧客満足度を高め、顧客ロイヤルティの向上を図るため、TVCMやラジオCM、新聞折り込みチラシやDM、雑誌や動画、WEB広告や各種SNSなど幅広いメディアを活用した複合的で最適な情報発信の強化や店舗特性に合わせたマーケティング施策の強化を通じて、「愛眼ブランド」の認知度向上に努めてまいりました。

店舗につきましては、東京都の町田市に1店舗、兵庫県の神戸市に1店舗、計2店舗を新規出店し、不採算店舗の撤退や入居する商業施設の建て替えに伴う退去など8店舗を閉店しました。また、既存店の活性化を目的とした改装を7店舗で実施しました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は14,458百万円（前期比1.5%増）、セグメント損失は108百万円（前期はセグメント損失63百万円）となりました。

#### 【眼鏡卸売事業】

眼鏡卸売事業につきましては、新商品の投入や販売支援を通じて得意先との取引深耕を図るとともに、新規取引先の開拓に努めております。

この結果、売上高は404百万円（前期比1.6%増）となり、セグメント損失は5百万円（前期はセグメント損失12百万円）となりました。

#### 【海外眼鏡販売事業】

当社連結子会社である北京愛眼眼鏡有限公司は、2022年11月28日開催の取締役会の決議に基づき、現地の法令に従い、解散及び清算へ向けた諸手続きを進めておりましたが、2024年8月20日をもって清算が終了いたしました。

この結果、売上高は0百万円（前期比93.8%減）、セグメント損失は8百万円（前期はセグメント損失24百万円）となりました。

なお、売上高0百万円は、2023年12月末の最終注文分を2024年1月に出荷したことによるものであり、以後、売上高が追加で発生することはありません。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長 佐々昌俊

## 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第62期 (2022年3月期)	第63期 (2023年3月期)	第64期 (2024年3月期)	第65期 (当連結会計年度) (2025年3月期)
売 上 高(百万円)	13,804	14,198	14,658	14,863
経常損失(△)(百万円)	△438	△385	△59	△47
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(百万円)	△690	△803	△181	3
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)(円)	△35.59	△41.39	△9.36	0.17
総 資 産(百万円)	14,631	13,991	14,079	13,854
純 資 産(百万円)	12,920	12,144	12,103	12,011
1株当たり純資産額(円)	665.72	625.78	623.67	618.94

## 株式の状況 (2025年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 60,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 21,076,154株  
(自己株式1,669,131株を含む)
- (3) 株 主 数 25,682名
- (4) 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2,138 千株	11.02 %
愛 眼 従 業 員 持 株 会	954	4.92
愛 眼 共 栄 会	823	4.24
下 條 三 千 夫	544	2.80
INTERACTIVE BROKERS LLC	509	2.62
佐 々 栄 治	482	2.49
佐 々 善 二 郎	375	1.94
田 中 修 治	337	1.74
佐 々 千 恵 子	321	1.66
セイコーオプティカル プロダクツ株式会社	298	1.54

(注) 持株比率は、自己株式(1,669,131株)を控除して計算しております。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (2024. 3. 31現在)	当期 (2025. 3. 31現在)	科目	前期 (2024. 3. 31現在)	当期 (2025. 3. 31現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	7,390	7,393	流動負債	1,468	1,336
現金及び預金	4,360	4,299	支払手形及び買掛金	406	356
受取手形	8	4	未払法人税等	157	153
売掛金	820	773	契約負債	283	331
商品及び製品	1,929	2,073	賞与引当金	54	27
原材料及び貯蔵品	22	38	その他	566	467
その他	250	204	固定負債	508	506
貸倒引当金	△1	△1	繰延税金負債	107	97
固定資産	6,689	6,461	再評価に係る繰延税金負債	6	6
有形固定資産	3,017	3,049	資産除去債務	313	331
建物及び構築物	1,044	1,030	リース債務	4	—
土地	1,799	1,799	その他	76	70
その他	173	219	<b>負債合計</b>	<b>1,976</b>	<b>1,843</b>
無形固定資産	18	15	<b>純資産の部</b>		
ソフトウェア	18	14	株主資本	14,280	14,283
その他	0	0	資本金	5,478	5,478
投資その他の資産	3,653	3,396	資本剰余金	6,962	6,962
投資有価証券	714	604	利益剰余金	2,891	2,894
敷金及び保証金	2,623	2,484	自己株式	△1,051	△1,051
その他	315	307	その他の包括利益累計額	△2,176	△2,271
資産合計	14,079	13,854	その他有価証券評価差額金	258	199
			土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			為替換算調整勘定	35	—
			<b>純資産合計</b>	<b>12,103</b>	<b>12,011</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>14,079</b>	<b>13,854</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)	当 期 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)
売上高	14,658	14,863
売上原価	4,615	4,772
売上総利益	10,043	10,090
販売費及び一般管理費	10,166	10,219
営業損失(△)	△123	△128
営業外収益	120	118
営業外費用	56	36
経常損失(△)	△59	△47
特別利益	—	233
特別損失	33	88
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△93	97
法人税、住民税及び事業税	89	88
法人税等調整額	△1	5
法人税等合計	88	94
当期純利益又は当期純損失(△)	△181	3
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△181	3

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)	当 期 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△87	△155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166	94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△249	△60
現金及び現金同等物の期首残高	2,103	1,854
現金及び現金同等物の期末残高	1,854	1,793

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概況 (2025年3月31日現在)

商号	愛眼株式会社
本社設立	大阪市天王寺区大道四丁目9番12号 1961年1月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・補聴器・サングラス・その他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンを展開しております。
従業員数	676名 (ほか平均臨時従業員数382名)
店舗数	眼鏡店 213店舗
連結子会社	1社

## 役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役社長	佐々昌俊
取締役	佐々雅彦
取締役	松本隆行
取締役	森重洋一
取締役	山田吉隆
常勤監査役	山岸仁
監査役	明石敬子
監査役	溝内有香
監査役	松嶋依子

- (注) 1. 森重洋一及び山田吉隆の両氏は、社外取締役であります。  
2. 明石敬子、溝内有香及び松嶋依子の3氏は、社外監査役であります。

## 株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券1枚
	・500株以上ご所有	30%割引券2枚
(但し、特別限定品は20%割引)		
[補聴器]	・100株以上ご所有	10%割引券1枚
(但し、特別限定品は除く)		

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	(1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電 話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く)
(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告の方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

### <ご注意>

#### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <https://www.aigan.co.jp/>